

社会的な差別・抑圧によって加害者となった女性への支援

目 的：東京社会福祉士会は、東京三弁護士会と協働して、福祉的支援が必要な罪に問われた人を、被疑者・被告人の段階で支援しています。その活動の中で、長年パートナーもしくは家族からの虐待に耐えてきた女性が、加害者となってしまった事件が多くあることに気付きました。凄惨な暴力や差別の被害歴をもつ多くの女性たちが、なぜ被害者としてではなく加害者（被疑者・被告人）として刑事司法に関わることになるのか。このような問題の背景やこれからの展望を、当事者研究、刑事司法制度の枠組み、そして地域の課題として考える必要があると思われます。ぎりぎりの状況に追い込まれてなお、福祉の手につながることなく加害者となってしまった女性への支援について、司法、医療、福祉等の関係者そして当事者や市民と考えたいと思います。

日 時：2018年2月24日（土）午後1時より5時（終了後、懇親会：自由参加）

会 場：早稲田大学 早稲田キャンパス 8号館地下1階 B101 教室

新宿区西早稲田 1-6-1） 地下鉄東京メトロ東西線「早稲田駅」から徒歩 10 分

主 催：公益社団法人 東京社会福祉士会

豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5 階（TEL. 03-5944-8466 FAX. 03-5944-8467）

共 催：早稲田大学社会安全政策研究所（WIPSS）

新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学 8 号館 1126 号石川研究室内（TEL. 080-2078-1051 FAX. 03-5286-1324）

企 画：公益社団法人 東京社会福祉士会／司法福祉委員会（TEL. 03-6907-0511 FAX. 03-6907-0512）

内 容（敬称略）

□基調講演：「加害者」と「被害者」の両面性

香山リカ 立教大学教授・精神科医・NHK ラジオパーソナリティー

1960年北海道生まれ、東京医科大卒業。講演活動、著作多数。

□シンポジウム：社会的な差別・抑圧によって加害者となった女性への支援

香山リカ 立教大学教授・精神科医・NHK ラジオパーソナリティー

渡辺智子 回復者

白木麗弥 第一東京弁護士会 弁護士

コーディネーター：橋本久美子（社会福祉士・刑事司法ソーシャルワーカー／東京社会福祉士会：司法福祉委員会 委員）

対 象：社会福祉士、保護観察官、保護司等の関係者、一般市民、学生等。立場や職種は問いません。

定 員：300人（事前申込制。定員に達した場合は、先着順で締め切らせていただきます。）

受講料：1）東京社会福祉士会の会員・学生－1,000円、2）他の道府県社会福祉士会の会員・保護司－1,500円、3）その他（一般）－2,000円（当日、受付の際にお支払ください。）

懇親会：講座の終了後、希望者による懇親会を、26号館（大隈記念タワー）15階 レストラン「森の風」にて開催します（参加費：4000円）。参加希望者は、受講申込の際にお申込みください。

申 込：下記の必要事項を明記の上、東京社会福祉士会：司法福祉委員会（E-mail：office@waseda-spike.jp FAX. 03-6907-0512）まで、メールかファックスでお申込みください。（郵便は不可です）

【必要事項】①氏名（ふりがな）、②住所／連絡先（「自宅」か「職場」かを明記／〒・TEL 番号・FAX 番号、メールアドレスも）、③職場／所属先名、④東京社会福祉士会の「会員」か「非会員」の区別（「会員」の場合は、会員番号と「司法福祉委員であるか否か」を／保護司・学生の場合は、その旨を明記）、⑤懇親会への参加・不参加

問合先：同会／司法福祉委員会（TEL03-6907-0511／不在の場合は090-3108-0358＜松友＞に転送）へ。

お断り：定員を超過してお断りをするとき以外は、こちらからは連絡をいたしません。ご了承ください。